

千葉看護学会



第19回学術集会

テーマ

実践と研究の往還 — 受け取り、手渡し、手をつなぐ —

会期

2013年9月14日(土) 9時30分～16時30分

会場

千葉大学亥鼻キャンパス看護学部校舎
(千葉市中央区亥鼻1-8-1)

会長

和住淑子

(千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター 教授)

プログラム

- 9:30～10:15 会長講演 「F. Nightingaleにみる実践と研究の往還のモデル」
10:25～11:45 理事会企画「実践と研究の‘わ(環・輪・和)’を感じよう
— 領域横断型学会の強みを活かす —」
話題提供: 黒田久美子(千葉看護学会理事・編集委員長)
対 談: 藤沼 康樹(医療福祉生協連家庭医療学開発センター)
酒井 郁子(千葉看護学会理事長)
- 12:00～12:50 総会/昼食
13:00～14:50 演題発表(口演・示説)/交流集会
15:00～16:30 パネルディスカッション「看護の創造へ向けた実践と研究の融合」
パネリスト: 堂前 有香(千葉県こども病院)
内田 明子(聖隷佐倉市民病院)
山本 利江(千葉大学大学院看護学研究科)
座 長: 菊田 直美(千葉大学医学部附属病院)
仲井 あや(千葉大学大学院看護学研究科)

■事務局

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1
千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター内
黒田久美子
(E-mail) cans19-office@umin.ac.jp

■演題/交流集会登録締切

平成25年6月10日(月)
※詳細は学会ホームページをご参照ください

■学会ホームページ

<http://www.cans-net.jp/society/>